

四月例会御案内

(平成二十九年・通算第三六三回)

時代を刷新する会

○御案内

四月十日(月)正午～午後二時半 参議院議員会館 一階 一〇二会議室

◎講師 西岡力先生(朝鮮半島情勢の権威、麗澤大学客員教授、拉致家族を救う会会長)

日本に最も近い朝鮮半島の情勢が、その北も、南も、極めて不安定かつ危険な状態にあるように思われ、心配です。北朝鮮は、金正恩がますます独裁君主制を強め、多くの側近をも粛清し、親族を惨殺し、近くは兄にあたる金正男氏をマレーシア国際空港で、VXという猛毒を用いて謀殺するなど、正に恐怖政治です。その上、核弾頭付ミサイルを完成させ、日本近海へも同時に、何発も撃ってくる有り様です。暴君はなにをしてくるか、分かりません。また、韓国では、朴正熙大統領の未婚の娘で清純そのものと思われていた朴槿恵大統領が、なんと収賄をはじめとする十三もの犯罪の嫌疑で解任され、特別検察官の取調べを受けるに至っており、その結果、五月には、大統領選挙が行われるとのことです。その候補者には左翼思想者が選ばれる可能性が高いとの報道で、朝鮮半島情勢は日本にとって、深刻な問題です。御講話・分析をいただくことにしました。奮っての御参加お待ち申し上げます。(清原記)

□当日会費 会員四千円、非会員五千円 ※四月七日(金)までに欠の御連絡賜りたく。

時代を刷新する会

当日連絡先 080-8836-6203 重田

080-9292-2620 高津

(通話のみ)

四月十日(月)の月例会に

<http://www.jidaisassin.jp>

出席 欠席 (いずれかに〇印を)

電話 03-3272-4320

FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様のFAX

メール

○御報告

日本は、中国の技術的・経済的發展に著しく貢献してきましたが、中国はその経済的發展とともに、軍事力の増強に努め、いまや世界第二の軍事大国となり、尖閣諸島をはじめ東シナ海での軍事的圧力に加え、南シナ海の環礁を埋立て軍事基地化を進めています。これに對して、アメリカのトランプ新政権は、国防予算を一〇%増額すると宣言。米中間は一触即発です。そうした折、カリフォルニア大学のピーター・ナヴァロ教授が『米中、もし戦わば!』と題する著書を出版。これが、いま軍事専門家によって熱心に読まれており、幸いその解説書を、防衛省防衛研究所の飯田将史主任研究官が上梓されていると聞き、早速お願いに出ました。飯田将史先生の御解説をすべてここに紹介することは出来ませんが、内容を詳細に分析され、続いて、軍拡を強力に進めている理由を挙げ、次いで、中国の軍事力の内容を詳細に分析され、続いて、アメリカのオバマ前政権は初めは中国と協調志向であったが、中国に幻滅し、対中国警戒路線へ転換しつつあった。トランプ新政権は、それを受け継ぎ軍事力増強を宣言したが、中国企業が進出してアメリカ人の雇用を奪っている。また中国の為替操作・非関税障壁・知的財産権の侵害などの是正、という経済面からの対策も宣言しており、軍事・経済の両面からの対応策は注目に値する。中国も、トップは軍事力ではなおアメリカに敵わないことを知っているの、アメリカに全面戦争をしかけることはないだろうが、偶発的衝突により局地的戦争が発生することにはありうる等々の分析で、その後、会員との熱心な質疑応答がありました。(清原記)

▽「時代を刷新する会」とは、

「何事も人類・国民のためになることには、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸元総理がそうであったように超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄元衆議院議長。第四代・塩川正二郎元文部大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員。その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員・外務副大臣が就任しております。岸信夫衆議院議員は、当団体の創立者・岸信介元総理の直系の孫にあたります。

▽事務局電話(03)3272-4320

専務理事・清原淳平、総務 重田典子、高津優介